



第34号

平成24年6月15日

7月の行事予定

- 7月1日(日) ゆ〜るサロン
- 7月8日(日) 子ども村「まきまきぱん」
- 7月14日(土) 未来創造人材育成講座
- 7月21日(土) 交流サロン

平成24年総会と交流サロン開催

5月26日(土)
中央公民館講堂

まちサポは今年開所4年目を迎え、先日24年度の総会を行いました。ちょうど小学校の運動会と日にちが重なり、昨年度より少ない参加でしたが、副町長をはじめ町議会議員、副議長などたくさんの方にお集まりいただきました。



まちサポは民設民営で運営していますし、利益になるような営業もなく3年間維持してきましたが、この先の運営を民間だけで維持するのは大変だろうとの声がありました。皆様が、住民活動をする上でまちサポを頼りにしてくれ、なくてはならない施設になってきているのは確かな事です。今後も、会員等賛同者を増やす事で維持運営していければと考えています。そして、多くの方に利用していただくことで、成り立てればと思っています。

後半の交流サロンは、総会の時間が延びてしまい30分近く遅れて始まりました。大網のお店を紹介している「あみなび」の活動発表に続き、郷土史研究会会長の古山豊氏に「房総沖巨大地震と大津波一元禄地震・東日本大震災から学ぶこと」の講話をしていただきました。少しユーモアを交えながらの巧みな先生のお話に参加者全員聞き入っていました。帰り際には「難しい話だけれど、飽きずに楽しく聞くことができたわ。」との感想も聞こえてきました。

開催にあたって、ご協力いただきました皆様には感謝いたします。

第2回
ゆ〜るサロン
7月1日(日)
10:00~14:00
参加費200円
七夕かざりと炊き込みごはんを作ります。

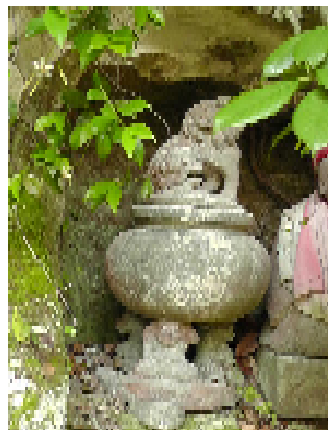
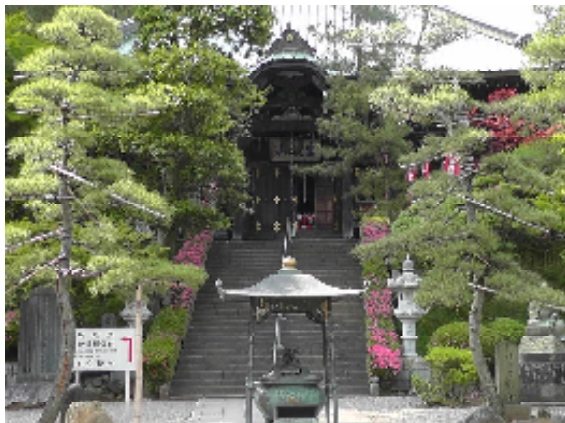
ゆ〜るアクトシティ活動報告
6月30日(日)異世代交流
ゆ〜るサロンを行いました。
さわやかに晴れた日曜日、第1回ゆ〜るサロンを開催しました。一人参加費200円で、お茶をしながらの井戸端会議。下は二歳半、上は八〇歳までの方が集まり、自己紹介をかねて近況を話したり、童歌や手遊びをして楽しく過ごしました。初回は顔合わせなので、2時間になりましたが、お話を弾んで、あっという間で終了。今回の参加者は5名、スタッフは6名でした。これからどんな会にしたいかと尋ねたところ、どこかに出かけたところ、どこかにおいおい考えて行きましよう。次回7月1日、童心かえって七夕かざりを造ります。どなたでも参加可能です。散歩がてら遊びに来て下さい。

大網白里まちづくりサポートセンター

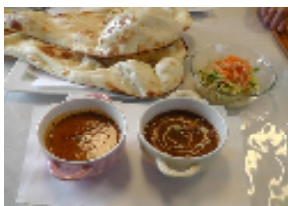
まちづくり未来塾 写経会

彩の国 巡礼の旅

坂東三十三観音めぐりも、今日で4回目になります。今回は埼玉県にある三つのお寺に納経してきました。最初に訪ねたお寺は、とまきがわ町にある慈光寺です。朝の清々しい空気の中、本堂まで石段を登ります。住職に先に観音堂と般若心経堂へお参りしてくるよういわれ、かなり急な石段を登りお参りをしてきました。本堂に戻り、納経し御朱印をいただきました。その間ご住職のありがたい説法を聞きました。この慈光寺のご本尊は十一面千手千眼観音菩薩です。この観音様



はお母さんだそうです。おむつを替えるときお母さんは何回手を使いましたか？お母さんが生きていたら聞いてみない。数えてなんかないでしょうが。一手をかけて育てられたとお話。母をありがたいたいと思わないと押しつける訳ではないのですが、自然と母への感謝の念がわいてきました。朝からいいお話をお聞きました。二つ目のお寺に向かいました。三つ目のお寺に向かう途中で道を曲がり損ねたおかげで、本場インドのおいしいカレー屋さんを見つけた。大きなナンでおなかいっぱいになり、無事に納経も済ませ帰路につきました。天気にも恵まれた一日でした。



大盛況のオーピングガーデン

5月の中旬を過ぎると、どこのお庭でもバラの花が咲き始め、町中が華やかになってきます。オーピングガーデン大網白里ではオーピングガーデンの第2弾として、バラのあふれるイングリッシュユガーデンを2件公開しました。こちらの庭は昨年引き続きの公開ですので、公開を待ちかねていた方も多かったようです。見学に訪れる方も多方面に渡り、連日たくさんの方で賑わいました。

特に経田の今井邸には、茂原樟陽高校の生徒さんが、花の名前を調べスケッチをするなどの授業に来ていました。また季美の森の遠藤邸ではケーキセットのサーブがあって、予約をすればバラの中のティータイムを楽しむことができます。う趣向もありました。どちらのお庭とも約一週間の公開で訪れた方は五〇〇人近くになり、これも町の活性化につながっていると感じました。



経田今井邸 128号線より見たところ

季美の森 遠藤邸 南側から見たところ



お世話になっていきます。

毛糸・手芸・生地・化粧品
ぷち・はんず
大網32-5
0475-72-0394

安藤正義税理士事務所
大網白里町仏島91
0475-72-6188

トップマート大網店
大網白里町大網84-4
0475-70-2058

子ども村で流しそうめん

前日の雨が嘘のような快晴の6月10日、40人の親子が流しそうめんを楽しみました。竹を切って器を作り、中には箸も竹で作った人もいて、流しそうめんの始まりです。そうめんの他にトマトやサクランボ、ナタデココも流れて来て、取り損なって悔しがったり、上手にとれてうれしがったりと盛りあがりました。こんな風に食べると普段より多く食べられるのか、平均して一人頭4人前くらい食べたようです。おなかいっぱいになった後は、そうめんを流す体験です。大人のために子どもたちに流してもらったのですが、団子状態で大量に流れてきて食べるのが大変でした。そうめんを手でつまむなんて初体験だったからしょうがないかな。その後は、自然の中でたっぷり遊び解散しました。スタッフも含めてみんなで楽しめた一日でした。



子ども村のイベント情報は大網白里子育てネットワーク協議会のホームページにて公開しています。又、まちサポのメールに登録すると情報を入手できます。本文に「子ども村に登録」と入力し送信すると登録できます。

<http://kosodate.machisapo.net/kodomomura.html>
E-mail: info@machisapo.net

竹を切って器や箸を作りました。



これからの季節お天気のいい日は帽子を着用するのを忘れないようにお願いします。流しそうめんの日は何人か忘れて子がいました。熱中症にならないようにするには、自己管理が大切です。



帽子をかぶろう！



子ども村の団体使用について

※開村日以外の日、10人以上の団体にたいして子ども村を貸し出します。水道・トイレの使用可能です。

※使用料は1日1,000円です。

※イベント利用やキャンプなどの場合は事前にご相談ください。

※申し込みは、利用日の2週間前まで。キャンセル料はいりません。利用料金は、当日子ども村のスタッフにお支払ください。

※お申し込み・問い合わせ

大網白里子育てネットワーク協議会事務局 担当 鶴澤
☎0475-72-8278 まちサポ(内)

7月は、まきまきパンを作ろう！

7月8日(日) 10:00～

参加費 1人200円

詳細は、ホームページでご確認ください。お申し込みはメールでお願いします。

エコパーク大網白里子ども村

開村日 毎月第2日曜日 10時～15時

雨天の時は 第3日曜日

★ボランティア募集

開村時間内の見守り、自然遊びの指導、子ども村の整備などお手伝いしていただける方を募集しています。

花と緑(6)

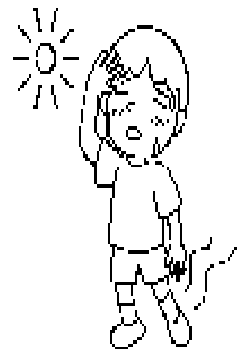
オープン・ガーデン(K)

梅雨の時、水と温度と湿度 全ての条件良く植物全体が育つ季節です。どちらかといえば、伸びすぎに注意です。花木、樹木も枝を伸ばします。新芽もある程度固まり、伸びすぎの枝を切ったり、樹形を整えるのに良い時期です。また、草花も葉と葉の間の茎が伸びすぎる時です。そのままにしておくと形状のバランスをなくします。伸びすぎた花芯や茎は切り落としておくと新しい芽が出てまた花をつけます。施肥は控えめにし、土の表面が乾いたら水を与えてください。この時期病気や害虫にも注意が必要です。 つづく

熱中症に気をつけよう！①

まちサポでは、
「熱中症予防声かけプロジェクト」
<http://www.hitosuzumi.jp/project> に
参加しています。

熱中症とは 高温多湿の環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく働かないことにより、体内に熱がこもり、筋肉痛・大量発汗・吐き気・倦怠感などの症状が現れ、重くなると意識障害を起こします。



熱中症には

熱失神・熱疲労・熱けいれん・熱射病などがあり、それぞれの症状は次の通りです。

熱失神 皮膚血管の拡張によって血圧が低下、脳血流が減少し、めまいや失神を起こします。顔面蒼白、呼吸回数の増加、唇のしびれなどもみられ、脈は速く弱くなります。

熱疲労 大量の汗をかき、水分補給が追いつかず脱水症状になり、脱力感・倦怠感・めまい・頭痛・吐き気などがみられます。

熱けいれん 大量に汗をかき、水だけを補給したことで血液中の塩分濃度が低下したときに、足・腕・腹部の筋肉に痛みを伴ったけいれんをおこります。暑熱環境下での長時間運動時に起こりやすいもの。

熱射病 体温の上昇のため中枢機能に異常をきたした状態です。意識障害（応答が鈍い、言動がおかしい、意識がない）が特徴で、頭痛、吐き気、めまいなどの症状ショック状態などもみられます。全身臓器の血管が詰まって、脳・心・肺・肝・腎などの臓器障害を合併する事が多く死亡率も高くなります。

☆家の中でじっとしていても室温や湿度が高いため、熱中症になる場合もあります。

☆水分補給と暑さを避ける工夫をしましょう！

ホタル・ジンジャーの活動2

先月号でほたるのえさを取りに行った事を書きましたが、今度はほたるを見に行ってきました。始めにほたる博士の金坂さんからほたるの生態について、人間の体温でやけどをしてしまうこと、そして他の場所では生きられないこと、光にも敏感で、懐中電灯の光も避けなくてはならないことなどをまなび、ほたるを傷つけないように接する事を約束しました。この日は飛んでほたるを数えることを体験します。薄暗くなってきた田んぼの中をほたるの住む川に向かいます。ほたるはもう、チラホラ飛び始めていました。7時半頃までが一番多く飛んでるそうで、みんなでほたるの数を数えました。金坂さんは毎日数えてほたるを守ってくれています。皆さんも、ほたるに優しく、体に止まったほたるを連れて帰らないようにお願いします。

事務局長 鵜澤

大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里町大網 32-3

TEL/FAX ; 0475-72-8278

<http://machisapo.net>

E-mail: info@machisapo.net